

北海道立北方建築総合研究所 NEWS LETTER

北方かわらばん

Mail Magazine VOL.9 2009/08/10

「北方かわらばん」は、北海道立北方建築総合研究所が発行しているメールマガジンです。ホームページ等で配信登録された方にお送りしています。アドレスを登録した覚えのない方、登録内容の変更、配信停止は【管理者からのお知らせ】をご覧ください。このメールアドレスは配信専用のため、返信できませんのでご了承ください。

※MSゴシックなどの等幅フォントでご覧ください。

今月号のトピックス

第9号の内容はこちらです。

■イベントのお知らせ

平成21年調査研究報告会（札幌）のお知らせ

■今回の特集記事

平成21年調査研究報告会 北海道の住宅の未来を考える

■北総研からのお知らせ

住宅用トータルエネルギー予測プログラムの配布に関するお願い

普及支援に関するニーズを募集します

イベントのお知らせ

■【平成21年調査研究報告会（札幌）のお知らせ】

平成21年9月14日（月）札幌コンベンションセンターにおいて、「北海道の住宅の未来を考える」をテーマに、平成21年北方建築総合研究所調査研究報告会（札幌）を行います。

今回の特集記事に内容を掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

=====
=====
今回の特集記事
=====
=====

■【平成21年調査研究報告会 北海道の住宅の未来を考える】

今回は「住宅」をテーマに掲げ、第1部の研究報告会では、「ユニバーサルデザイン」「換気」「音」「温熱環境性能」「積雪」の5つのテーマで研究報告を行うほか、第2部では、「これからの北海道の住宅のあり方」についてシンポジウム形式で議論し、今後、北海道の住宅はどこへ向かうのか、その方向を来場者とともに探ります。

平成21年北方建築総合研究所調査研究報告会～北海道の住宅の未来を考える

日時：平成21年9月14日（月） 9：30～16：00

場所：札幌コンベンションセンター 大ホールC

（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）

定員：約300名

参加費：無料

□第1部 研究報告会（9：30～11：50）

1. 住宅におけるユニバーサルデザイン
居住科学部人間科学科長 長谷川 雅浩
2. 室内を快適にする高性能換気と夜間換気
居住科学部人間科学科 研究職員 村田 さやか
3. 木造住宅の快適な音環境
企画指導室指導支援科長 廣田 誠一
4. 北方型住宅の温熱環境の検証
環境科学部居住環境科 研究職員 立松 宏一
5. 積雪を考慮した住宅計画
環境科学部都市防災科 研究職員 堤 拓哉

□第2部 シンポジウム（13：00～16：00）

1. 基調講演（13：00～13：50）
「持続可能型社会をめざすハウジング」
京都大学名誉教授 巽 和夫 氏
2. パネリストからの話題提供（13：50～15：00）
「ローカルな必然性より生まれる新しい普遍性」
五十嵐淳建築設計 五十嵐 淳 氏
「北海道スタイルの確立～素材・技能・技術」

プログラム」ですが、おかげさまで非常に多くの方にユーザー登録していただき、ご利用いただいています。

利用にあたって多く寄せられているご質問をQ & Aのページで紹介していますが、「登録したが、ダウンロード用のメールが届かない。」といったお問い合わせが多くなっています。

ダウンロード用メールはコンピュータによる自動返信ではありませんので、登録していただいた後、すぐに届かない場合があります（特に土日祝の場合）。ただし、1週間経っても届かない場合は、

- ・登録していただいたメールアドレスに誤りがある
 - ・研究所から送信したメールが受信側で迷惑メールとして判断されている
- などの問題が考えられます。届かない場合は、ホームページから再登録せず、電話かメールにてお問い合わせください。

▽お問い合わせ先▽

企画指導室指導支援科

電話 0166-66-4218

メール info@hri.pref.hokkaido.jp

住宅用トータルエネルギー予測プログラムのページ

<http://www.hri.pref.hokkaido.jp/provide/software-energy.html>

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

■【普及支援に関するニーズを募集します】

当研究所では、年2回の調査研究報告会（札幌、旭川の2会場）の開催、セミナー等への講師派遣など、研究成果や技術を広めるために様々な形で普及支援活動を行っています。

当研究所ではさらなる普及支援活動の拡充を目指し、調査研究報告会や講習会等に関するニーズを募集します。

「こんな内容の講習会を開催してほしい」「この地域で開催してほしい」などご要望がありましたらメールにてお知らせください。ご要望に添えない場合もありますが、できる限りご要望にお応えできるように検討いたしますので、皆様からの声をお待ちしております。

メールはこちら info@hri.pref.hokkaido.jp

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

【編集後記】

すっかり夏の一大イベントとなった「サイエンスパーク」が終了しました。

展示物を何にするか、子どもたちにわかりやすくどう伝えるか、実は一年中悩んでいます。

子どもたちに毎年好評の「お魚のタッチプール」（水産孵化場）や、農業試験場の農作物の試食、林産試験場の「木のおもちゃづくり」など、それぞれの機関が、持っている研究素材や成果を活かした体験コーナーを作りあげ、子どもたちにわかりやすく伝えています。

研究成果が形となって見える他機関に比べ、北総研の研究成果は、大半が「技術」であったり「考え方」であるため、成果をどう伝えるかが課題となっています。

昨年度は、北海道洞爺湖サミットが開催されたこともあり、「家庭でできる省エネ」を伝えようと考え、エネルギーの大切さを知ってもらうための体験模型として自転車発電を出展しました。これが、北総研ブースとしては例年にない好評ぶりだったため、すっかり味をしめた我々は、今年度も自転車発電でいこうと、直前まで準備をしていました。しかし、頭の片隅では「これでいいのか…」と自問自答を繰り返し、楽な方向に逃げようとしていた我々が最後に出した答えは「こどもの家」の製作でした。

子どもたちに「建築」や「住まい」をわかりやすく伝えることができるのは「家」ではないかと、以前から案はあったものの形にせず、ここまできました。それを今回、1坪の2階建て、小さい子どもが中に入って遊ぶことができる（しかも階段で2階に行ける!）「こどもの家」として形にすることができました。運搬するのに非常に苦労しましたが、子どもたちが楽しそうに遊んでいる姿を見て、苦労が報われた気がしたと同時に、「逃げないことの大切さ」を子どもたちに教えられた気がしました。

(N)

=====
管理者からのお知らせ
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。

登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

<http://www.hri.pref.hokkaido.jp/provide/mail.html>

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と

記載してください。

■各種お問い合わせ専用メールアドレス info@hri.pref.hokkaido.jp

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：北海道立北方建築総合研究所企画指導室